

Ⅱ．平成26年の主な密輸入摘発事例

1．覚醒剤

【石材に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成26年1月、門司税関は、メキシコから到着した海上コンテナ貨物の検査において、石材に隠匿していた覚醒剤 約145kgを発見、摘発した。



【パイナップル缶詰内に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成26年3月、東京税関は、メキシコから到着した航空貨物の検査において、パイナップル缶詰内に隠匿していた覚醒剤 約30kgを発見、摘発した。



【ロシア人船員による覚醒剤密輸入事犯を摘発】

平成26年12月、函館税関は、ロシアから小樽港に入港した外国貿易船から同船乗組員が陸揚げして輸入した覚醒剤 約27kgを発見、摘発した。



【中古自動車に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成26年10月、横浜税関は、米国から到着した海上貨物の検査において、自動車の運転席及び助手席の足元に隠匿していた覚醒剤 約17kgを発見、摘発した。



【リュックサック内に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成26年7月、東京税関は、中国から到着した日本人男性の携帯品検査において、リュックサック内に隠匿していた覚醒剤 約15kgを発見、摘発した。



2. 大麻

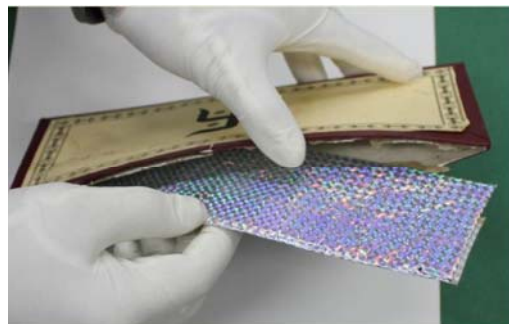
【玩具箱内に隠匿していた大麻草を摘発】

平成26年2月、東京税関は、米国から成田国際空港へ到着した日本人男性の携帯品検査において、玩具箱内に隠匿していた大麻草 約15kgを発見、摘発した。



【経典様のものに隠匿していた大麻樹脂を摘発】

平成26年2月、東京税関は、インドから到着した航空貨物の検査において、経典様のものに隠匿していた大麻樹脂 約6kgを発見、摘発した。



3. 麻薬

【国際スピード郵便物内に隠匿していた麻薬を摘発】

平成26年6月、名古屋税関は、中国から到着した国際スピード郵便物（EMS）の検査において、通称“XLR-11” 約500gを発見、摘発した。



【航空通常郵便物内に隠匿していた麻薬を摘発】

平成26年8月、横浜税関は、オランダから到着した航空通常郵便物の検査において、通称“メチロン” 約100gを発見、摘発した。

